

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会
2026年度 認知症介護実践研修（実践者研修） カリキュラム

講義・演習：24時間（1,440分）

実習：課題設定240分、他施設実習1日（自施設で代替）、職場実習4週間、実習のまとめ180分

前期【第1日目】

科目・時間・時間数	目的	内容	区分
オリエンテーション 9:30～9:40（10分）			
1 認知症ケアの基本			
認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援 9:40～12:40（180分）	認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的変遷や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状（BPSD）の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの理念と我が国の認知症施策 ・認知症に関する基本的知識 ・認知症ケアの倫理 ・認知症の人の意思決定支援 ・自己課題の設定 	講義・演習
昼休み 12:40～13:40（60分）			
生活支援のためのケアの演習1 13:40～18:40（300分）	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援のためのケア ・認知症の生活障害 ・認知症の人の生活環境づくり ・中核症状の理解に基づくコミュニケーション ・生活場面ごとの生活障害の理解とケア 	講義・演習

※ カリキュラムは予定です。会場により開始時間等が変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会
2026年度 認知症介護実践研修（実践者研修） カリキュラム

前期【第2日目】

科目・時間・時間数	目的	内容	区分
QOL を高める活動と評価の観点 9：30～10：30（60分）	認知症の人の心理的安定やQOL（生活・人生の質）向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティの基礎的知識と展開 ・心理療法やアクティビティの評価方法 	講義・演習
家族介護者の理解と支援方法 10：40～12：10（90分）	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族介護者の理解 ・家族介護者の心理 ・家族介護者の支援方法 	講義・演習
昼休み 12：10～13：10（60分）			
権利擁護の視点に基づく支援 13：10～14：40（90分）	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護の基本的知識 ・権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束 ・権利擁護のための具体的な取組み 	講義・演習
地域資源の理解とケアへの活用 14：50～16：50（120分）	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人にとっての地域資源と実践者の役割 ・インフォーマルな地域資源活用 ・フォーマルな地域資源活用 ・地域資源としての介護保険施設・事業所等 	講義・演習

※ カリキュラムは予定です。会場により開始時間等が変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会
2026年度 認知症介護実践研修（実践者研修） カリキュラム

後期【第3日目】

科目・時間・時間数	目的	内容	区分
2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践			
学習成果の実践展開と共有 9:30～10:30 (60分)	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を獲得する。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人本人の声を聴く（自施設・事業所における実践） 事例収集（自施設・事業所における実践） 中間課題の発表と共有 	講義・演習
生活支援のためのケアの演習2 （行動・心理症状）① 10:40～12:40 (120分)	認知症の行動・心理症状（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。	<ul style="list-style-type: none"> 行動・心理症状（BPSD）の基本的理解 行動・心理症状（BPSD）の発症要因とケアの検討（事例演習） 行動・心理症状（BPSD）の評価 生活の質の評価 	講義・演習
昼休み 12:40～13:40 (60分)			
生活支援のためのケアの演習2 （行動・心理症状）② 13:40～15:40 (120分)	認知症の行動・心理症状（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。	<ul style="list-style-type: none"> 行動・心理症状（BPSD）の基本的理解 行動・心理症状（BPSD）の発症要因とケアの検討（事例演習） 行動・心理症状（BPSD）の評価 生活の質の評価 	講義・演習
アセスメントとケアの実践の基本① 15:50～17:50 (120分)	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人のアセスメントの基礎的知識 観察の方法とポイント アセスメントの実際（事例演習） 実践計画作成の基礎的知識 実践計画作成の展開（事例演習） 実践計画の評価とカンファレンス 	講義・演習

※ カリキュラムは予定です。会場により開始時間等が変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会
2026年度 認知症介護実践研修（実践者研修） カリキュラム

後期【第4日目】

科目・時間・時間数	目的	内容	区分
アセスメントとケアの実践の基本② 9:30～12:30 (180分)	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人のアセスメントの基礎的知識 ・観察の方法とポイント ・アセスメントの実際（事例演習） ・実践計画作成の基礎的知識 ・実践計画作成の展開（事例演習） ・実践計画の評価とカンファレンス 	講義・演習
昼休み 12:30～13:30 (60分)			
3 実習			
自施設及び他施設実習の課題設定 13:30～17:30 (240分)	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習のねらい ・対象者選定 ・課題設定 ・4週間の行動計画の作成 	講義・演習

※ カリキュラムは予定です。会場により開始時間等が変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会
2026年度 認知症介護実践研修（実践者研修） カリキュラム

【他施設実習、自施設実習、自施設及び他施設実習評価】

科目・時間・時間数	目的	内容	区分
他施設実習 (1日) ※今年度は感染症の拡大防止を図る観点から、自施設で代替し実施いただく予定。	他の介護保険施設・事業所等への1日の見学実習を通して、自己の設定した課題の達成を目指し、その成果を得ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習課題に沿った実習の展開 ・研修目的に沿った実習の展開 	実習
自施設実習 (アセスメントとケアの実践) (4週間)	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人やご家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画及びケアの実践を展開できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の準備 ・実習の開始 ・報告準備 	実習
自施設及び他施設実習評価 (1日) 10:00～13:00 (180分)	アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場および自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習報告 ・ケア実践計画の評価 ・職場への報告と展開 	講義・演習
評価項目記入・修了式 13:00～13:10 (10分)			

※ カリキュラムは予定です。会場により開始時間等が変更になる場合がございますので、ご注意ください。

一般社団法人 北海道認知症グループホーム協会
 2026年度 認知症対応型サービス事業管理者研修 カリキュラム
 講義・演習：2日間（10時間）

科目・時間・時間数	目的	内容	区分
1日目 ※午前中は実践者研修「自施設及び他施設実習評価」を実施 ※苫小牧会場のみ開始時間は13:20となります。			
オリエンテーション 14:20～14:30 (10分)	管理者研修の目的は、地域密着型サービス事業所の管理者として、統括的な管理・運営と支援のあり方について学び、実践ができるようになること。研修の全体スケジュールを説明し、加えて、研修の機会を主体的、積極的に情報交換・ネットワーク作りの場として活用することの意義を認識する。	<ul style="list-style-type: none"> 研修の目的、目標の明示 自己課題の設定 研修の機会を主体的、積極的に自己学習の場として活用する意義 	
地域密着型サービス基準について 14:30～16:00 (90分)	適切な事業所運営を図るため、「地域密着型サービス」の目的や理念を理解する。 適切な事業所管理を行うため、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、看護小規模多機能型居宅介護事業所の各指定基準を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型サービスの目的 地域密着型サービスの種類・特徴・運営基準 地域作り 法令遵守・違反事例について 他 	講義
介護従事者に対する 労務管理について 16:15～17:45 (90分)	労働基準法の規定に基づき、適切な介護従事者の労務管理について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 職員の人事・労務管理の重要性 労働基準法に基づいた労務管理 宿直と夜勤について 労働時間と休憩について 労務管理に関する質疑・応答 	講義
2日目 ※苫小牧会場のみ開始時間は9:00となります。			
地域密着型サービスの 取組みについて 9:30～11:00(90分)	事業所からの実践報告を通じ、各事業のサービス提供のあり方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所からの報告 現状と課題、展望 	講義
適切なサービス提供の あり方について 11:10～(昼食(60分))～ 17:40 (330分)	管理者として、「地域密着型サービス」とは何か、また介護保険上の基本方針の意味を理解することにより、それぞれの役割や連携について、日常生活の支援等の具体的な場面を通して、その方向性やめざしているものを学ぶ。 加えて、質を確保し向上させていくためにはどうすればよいか、現状及び今後の課題や目標を明らかにし、質の担保を推進していくために必要な「統括的な管理運営のあり方」について学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 管理者の役割 業務管理 日常生活支援（ケアプランに沿った実践と記録） 利用者の権利擁護（尊厳・成年後見・身体拘束・虐待防止法等） リスクマネジメントの実際とその展開 サービス評価・情報公表制度等 人材育成の基本的な考え方とその方法 現状と課題と今後の展望 	講義
研修のレビュー（振り返り） 17:40～18:00 (20分)	2日間の研修の振り返りを行う。		
修了式 18:00～18:05 (5分)			

※ カリキュラムは予定です。会場により開始時間等が変更になる場合がございますので、ご注意ください。